

「2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金」(第3次) 助成事業報告書

提出日 2021年11月 17日

団体名	ちば里山・バイオマス協議会			
代表者	役職	代表	氏名	高澤真

助成事業名	里山活動による台風被害復旧と備え、関係人口創出とボランティア参加啓発活動			
助成金額	400,000 円			
事業実施期間	2021年7月18日 ~ 2021年11月17日			

【1】事業概要

※申請書の「事業概要」を踏まえ、実際に実施した概要を記載ください(500字以内)。

- ①椅子とテーブル 竹の活用に期待しますということで、2×4の木材とコンパネ、竹を使い製作した。3人掛け椅子を3脚 コンパネを使ったテーブルを3脚 竹林の簡易和室空間を1つ製作した。
- ②充電スポットののぼり旗は耐久性のある看板を作った。案内板も作成した。
- ③駐車場整備事業では、のべ10人が草刈りと竹林への導入路の整備。とくに階段と丸木橋の設置をおこなった。
- ④災害復旧ビデオを作成。2年間の活動内容と地域資源活用、台風への備えを啓蒙する内容となっている。
- ⑤災害復旧啓発冊子を作成。ビデオと連介した内容となっている。ボランティア参加してくれた方に配布を始めた。関係人口の拡大を図るため、東京商工会議所なども配布して活用する予定。

【2】実施内容

※実施内容(時期・対象者・何を・どのように)、数値的な実績(スタッフやボランティアの人数・参加者数・成果物の数量等)、連携した組織等について具体的に詳細をご記入ください。

7月18日 千葉里山・バイオマス協議会（以下、ちば協と略す）総会と記念講演会開催 スタッフ10名
参加者20名

7月25日 朝日新聞で「国産メンマプロジェクト」について掲載 ちば協も紹介される

7月25日 竹のベンチづくり 駐車場整備作業 スタッフ6名

8月1日 竹のベンチづくり 駐車場整備作業 スタッフ4名 参加者6名

8月4日 竹の床作り

8月5日 市原市商工会議所 榊原会頭来場 竹林の活動を説明

8月7日 竹林に簡易和室空間を製作 子供たちと竹林でミニコンサート
発達支援等デイサービス「ダイアキッズ」20名
銀座ミツバチプロジェクト 田中理事長来場

8月9日 市原市倫理法人会 おもしろ講演会開催 流しそうめん開催 32名参加

8月12日 田嶋要衆議院議員 佐久間隆義前市原市長来場 竹林の説明・案内

8月24日 いちはら市民大学で環境コースの講師（高澤） サンプラザ市原

8月25日 千葉日報に掲載される

8月30日 竹炭の炭素貯留について竹中工務店が土壌調査

9月9日 フジテレビで「国産メンマプロジェクト」について放送

9月9日 台風復興ビデオ完成

9月14日 千葉テレビで「台風教訓、無料充電スポット」放送される

9月20日 道の駅ちょうなんに竹を出荷 千葉テレビのインタビューを受ける

9月26日 千葉県ボランティア参加促進事業 竹林整備開催 32名参加 竹炭600L製造

10月10日 ちば里山カレッジで講演（高澤） 主催：ちば里山センター かずさアカデミアパーク

10月21日 NPO 農都会議のzoom勉強会に参加（高澤・山本）
市原市 高澤企画部長 銀座ミツバチ 田中副理事長と対談（高澤）

11月8日 大分県農林水産委員会委員長 後藤慎太郎県議
千葉県農林水産委員会副委員長 伊豆倉雄太県議
来場 ソーラーシェアリングの視察 無料充電スポット案内

11月8日 認定こども園 光の子幼稚園に選定枝を提供
「森のラビリンス」製作

11月13日 竹活用による畳の椅子、製作 2名

11月14日 千葉県ボランティア参加促進事業 竹林整備実施 26名

【3】成果（助成事業の自己評価）

※助成事業の目標（申請書に記載の「目指す状況」）の達成度について、以下A～Cのいずれかに印をつけ、そ

の理由について具体的にご記入ください。

達成度	<input type="radio"/> A. 想定以上の成果が得られた <input type="radio"/> B. 概ね実施計画とおりの成果が得られた <input type="radio"/> C. 思うような成果が得られなかった
理由	<p>災害時充電スポットの看板、場所の案内板について立派なものができる。</p> <p>災害復興ビデオと冊子もいいものができる。</p> <p>たくさんの方が集まってもらえるように、駐車場の整備、竹林への誘導口の整備ができた。</p> <p>椅子とテーブルは、材料を購入して、仲間たちと手作りをした。竹の有効活用をすることができた。</p> <p>ボランティア参加促進事業は、3回実施。コロナ禍の中、安全に気をつけながら毎回20人から30人の参加があった。</p> <p>千葉日報と千葉テレビの取材があり、多くの人に事業の説明をすることができた。</p>

【4】事業の総括・振り返り

※助成事業全体を振り返り、課題の設定、事業計画に対する実際の活動結果、成果の達成具合を振り返り、どの点がよかったのか、もう少し工夫が必要だったのか、今後改善するとしたらどのような点があるか等の総括を記載ください（500字以内）。

<p>台風からの復興については、ビデオ、冊子とも順調に製作できた。</p> <p>今年も台風が来るか来ないかで、予定は大きく変わったと思われる。</p> <p>竹を使った椅子やテーブルづくりは、思ったよりも手間がかかることがわかった。</p> <p>協議会の会員や友人が楽しそうに試行錯誤するのが良かった</p> <p>自分たちで作ったテーブル、いすは愛着がある</p> <p>今後の改善</p> <p>駐車場の整備について、駐車場から竹林に入る階段と丸木橋を整備したが、多くの方が歩くことで、翌年もメンテナンスが必要だと思われる。安全に使用できるように今後も点検整備が必要。</p>
--

【5】今後の展望と次の活動予定

※助成で取り組んだ課題における今後の展望とそれに対する今後の活動予定

<p>環境整備のボランティアは、今後も参加が見込まれる</p> <p>それには、タケノコやサツマイモなど美味しいものが食べられる環境整備も必要</p> <p>美味しいものがあるところに人は集まる</p> <p>食に関する人の関わりを増やしたい。東京でレストランや懐石料理を主宰する方など来場して、食材を提供している。今後が楽しみである。</p>
--

【6】広報実績

広報内容	内容
------	----

<p>1. メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)</p>	<p>日付、記事名、媒体、リンク先等 9月14日 千葉テレビ ニュース 「農業×太陽光発電 その仕組みとは」 8月24日 千葉日報 「太陽光電力地域に供給 台風教訓、スマホ発電所」</p>
<p>2. 広報制作物・報告書等、当該事業費を使って制作したもの</p>	<p>台風からの復興ビデオ 台風からの復興 冊子</p>

※成果物制作の場合5部提出



【7】寄付者へのメッセージ

※本助成金の原資は多くの個人や企業の寄付によるものです。ご支援くださった方々へのメッセージをお願いします。

助成金によって、台風復旧活動への理解が深まりました。地域の方々が里山活動を支援してくれるようになりました。また、きれいに整備された竹林などの活動場所に人が集まり、自然に触れることで多くの交流を生み出すことができました。これからも台風は来ると思います。それに備え協力して持続可能な社会を作っていくことにつながると思います。ご寄付、大変ありがとうございました。

【その他】本プログラムや当財団への要望などありましたら、自由に記入してください。

ちばのWA様には、途中相談に乗っていただいたり、励ましていただいたりして、大変感謝しております。助成金を受けとった団体は、事業内容について、これでよいのかと迷うこともあると思います。大きな方向性を示していただき、今後も社会に役立つ応援をしていただければ幸いです。

決算報告

収入

費目		金額(円)
2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金助成金		400,000
その他	自己資金	1,303
収入合計		401,303 円

支出

費目	算出根拠	金額(円)
椅子とテーブル	台紙 1 から4	75,303
充電スポットの看板	5	21,000
案内看板	6	90,000
駐車場環境整備	7から13	50,000
災害復旧啓発ビデオ	14	110,000
災害復旧啓発冊子	15	55,000
支出合計		401,303 円

※領収書の写しを添付してください。